

内閣 平成20年度省庁別財務書類の概要

省庁別財務書類について
1. 作成目的 内閣の一般会計の財務状況を開示。
2. 作成方法 「省庁別財務書類の作成基準」に基づき作成
3. 各財務書類の表す財務情報 (貸借対照表) 資産及び負債の状況を開示。 (業務費用計算書) 本年度に発生した費用の状況を開示。 (資産・負債差額増減計算書) 貸借対照表の前年度末資産・負債差額と本年度末資産・負債差額の増減を要因別に開示。 (区分別収支計算書) 歳入歳出決算の財政資金の流れを区分別に開示。

内閣の業務等の概要
【所掌する業務の概要】 内閣の庶務、内閣の重要政策の企画立案・総合調整、情報の収集調査等、法律問題に関し内閣総理大臣等に対し意見を述べ又は閣議に付される法律案等の審査等、及び、公務員の人事管理に関する中立第三者機関・専門機関として国家公務員の採用試験、給与、勤務時間・休暇、研修、服務・懲戒、不服申立て、倫理の保持等を所掌しています。 【定員数】 内閣官房 737 名、内閣法制局 77 名、人事院 685 名 【歳入歳出決算の概要】 - 歳入予算額 504 百万円 - 収納済歳入額 881 百万円 - 歳入予算額と収納済歳入額との差 377 百万円 - 歳出予算現額 97,434 百万円 - 支出済歳出額 91,116 百万円 - 不用額 1,543 百万円

参考情報
①公債関連情報(仮定計算により算定) a.資産額等を基礎として配分される本年度末公債残高 5,299 億円、本年度公債発行額 415 億円、本年度利払費 72 億円 b. 資産・負債差額等を基礎として配分される本年度末公債残高 5,207 億円、本年度公債発行額 415 億円、本年度利払費 71 億円

貸借対照表

(単位:十億円)

前年度	20年度	増減	前年度	20年度	増減		
< 資産の部 >			< 負債の部 >				
有形固定資産	70	57	△12	賞与引当金	1	1	0
国有財産(公共用財産除く)	42	39	△3	退職給付引当金	19	19	0
物品	27	18	△9				
無形固定資産	2	3	1				

業務費用計算書 (単位:十億円)				資産・負債差額増減計算書 (単位:十億円)			
前年度	20年度	増減		前年度	20年度	増減	
人件費	13	13	0	前年度末資産・負債差額	79	52	△26
退職給付引当金等繰入額	1	2	0	本年度業務費用合計(A)	△113	△102	11
委託費等	41	46	4	財源合計(B)	85	91	5
庁費等	23	21	△2	租税等財源	85	91	5
減価償却費	15	13	△1	無償所管換等	1	0	△0
貸倒引当金繰入額等	-	0	0	本年度末資産・負債差額	52	40	△11
資産処分損益	14	2	△12	(参考) (A) + (B)	△28	△11	16
その他の業務費用	2	2	△0				
本年度業務費用合計	113	102	△11	区分別収支計算書 (単位:十億円)			
				前年度	20年度	増減	
				業務収支	-	-	-
				財源	85	91	5
				業務支出	△85	△91	△5
				財務収支	-	-	-
				本年度収支(業務収支+財務収支)	-	-	-
				資金残高等	-	-	-
				本年度末現金・預金残高	-	-	-

主な科目の内訳
(カッコ内は前年度からの増減額) (貸借対照表) ・国有財産(公共用財産を除く) 394 億円 (△33 億円) 土地 214 億円 (△9 億円) 建物 96 億円 (△7 億円) 工作物 76 億円 (△18 億円) 物品 185 億円 (△91 億円) (業務費用計算書) 委託費 467 億円 (+47 億円) 庁費等 219 億円 (△20 億円) 減価償却費 137 億円 (△19 億円)

主な増減内容
1. 貸借対照表 (資産) 土地…用途廃止による減 △9 億円 建物…用途廃止による減 △7 億円 工作物…減価償却による減 △18 億円 物品 …廃棄による減 △91 億円 無形固定資産 …購入による増 +13 億円 (負債) 退職給付引当金 0 億円 2. 業務費用計算書 退職給付引当金繰入額 +2 億円 委託費 +47 億円 庁費等 △20 億円 減価償却費 △19 億円 資産処分損益…引継による減 △124 億円 3. 資産・負債差額増減計算書 本年度業務費用合計と財源合計との差額(財源不足) △118 億円 (左記(A) + (B)により算出) ⇒企業会計の「当期純損失」に相当 4. 区分別収支計算書 財源…配賦財源 +70 億円 業務支出…委託費 △60 億円 …庁費等の支出 +7 億円